

# フードバンクを知るための 用語解説集

<b>フードバンク</b>	<p>寄贈者(例:食品関連企業)から食品(寄贈食品)等を集め、福祉施設や生活困窮者の支援団体等に無償で提供する仕組みのこと。 日本国内においてはフードバンクの定義が定まっておらず、フードドライブなどを通じて個人から食品を集めたり、支援団体ではなく個人へ直接配布するフードバンク団体もあるが、食品を集め、無償で配るというプロセスは共通している。</p> <p>詳しくはこちら: <a href="#">About Foodbankフードバンク活動について</a> <a href="#">フードバンク:農林水産省</a></p>
<b>フードバンク団体</b>	<p>フードバンク活動の中で寄贈者・受贈者からの情報を収集・整理し、両者を仲介する団体。食料の需給を調整することで寄贈者から受贈者への食品の流れを作る。</p> <p>詳しくはこちら: <a href="#">About Foodbankフードバンク活動について</a></p>
<b>フードパントリー</b>	<p>「食料庫」を意味する言葉で、集めた食品を直接個人へ配布(手渡し・郵送等)する仕組み及び活動をフードバンクと区別してこのように呼ぶ場合がある。フードバンクが食料を保管し、配布拠点であるフードパントリーに提供するという関係性が成り立っている。</p> <p>詳しくはこちら: <a href="#">これから活動を始められる方へ</a></p>
<b>フードドライブ</b>	<p>家庭で余っている食べ物を学校や職場、イベント会場などに持ち寄りそれらをまとめて寄付する活動のこと。</p> <p>詳しくはこちら: <a href="#">フードドライブで支援   SECOND HARVEST(セカンドハーベスト・ジャパン)</a></p>
<b>フードセーフティネット (食のセーフティネット)</b>	<p>生活保護などの経済的セーフティネットが人々の最低限度の生活水準を守るように、食という視点から、誰もが必要時に食品へアクセスできるようにする支援の体制・活動のことをさす。</p> <p>詳しくはこちら: <a href="#">About Foodbankフードバンク活動について</a></p>
<b>こども食堂</b>	<p>地方自治体、地域住民、関係団体・NPO等が主体となり、子どもたちに無料/安価で食事を提供する場所のこと。単に食事を提供するだけでなく食卓を囲む団らんの機会なども提供する役割もになっており、地域コミュニ</p>

	<p>ティの中での子どもたちの居場所づくりもその目的の一つ。開催規模や頻度は様々である。</p> <p>詳しくはこちら：  <a href="#">子供食堂と連携した地域における食育の推進：農林水産省</a></p>
こども宅食	<p>子供のいる困窮世帯やひとり親世帯に(定期的)に食事(食品の場合もある)を届ける仕組みのこと。  多くの場合、食を届けることで支援を必要としている人たちへのアウトリーチとして機能し、そこから支援ニーズを引き出す手法をとっている。</p> <p>詳しくはこちら：  <a href="#">政策アウトリーチに関する提言書</a></p>
フードロス	<p>フードサプライチェーンの前半(生産段階から始まり小売の前まで)で食品供給者の行動によって生じる食品の損失。  例えば規格外品で出荷されなかった野菜など。</p> <p>詳しくはこちら：  <a href="#">「2019年世界食料・農業白書 [THE STATE OF FOOD AND AGRICULTURE 2019]」概要</a></p>
フードウェイスト	<p>フードサプライチェーンの後半(小売、外食等の食品サービス、消費活動)で食品提供者や消費者の行動で生じる食品の廃棄。  例えばスーパーで売れ残って捨てられる惣菜など。</p> <p>詳しくはこちら：  <a href="#">「2019年世界食料・農業白書 [THE STATE OF FOOD AND AGRICULTURE 2019]」概要</a></p>
食品ロス	<p>食べ残し、売れ残りや賞味期限が近いなどさまざまな理由で、食べられるのに捨てられてしまう食品のこと。  事業系食品ロス(規格外品、返品、売れ残り、食べ残しなど)と家庭系食品ロス(食べ残し、手付かずの食品、皮の剥き過ぎなど)に分けられる。</p> <p>詳しくはこちら：  <a href="#">もったいない！食べられるのに捨てられる「食品ロス」を減らそう！暮らしに役立つ情報   政府広報オンライン</a>  <a href="#">第1部 第2章 第2節 (1)食品ロスとは   消費者庁</a></p>
食品ロス削減推進法	<p>正式名称は「食品ロスの削減の推進に関する法律」で、食品ロスの定義、削減に向けた大まかな方針、行政・事業者・消費者の役割や責任などを記している。  例えば「食品ロス削減月間(10月)」を定めたほか、内閣府の中に「食品ロス削減推進会議」を置いて施策推進することも定めている。</p>

	<p>詳しくはこちら：  <a href="#">食品ロスの削減の推進に関する法律   消費者庁</a></p>
<p>フードサプライチェーン</p>	<p>食品生産され、製造・加工・卸・流通・小売などを経て消費者に届き最終的に消費や廃棄されるまでの一連の流れのことを鎖に例えてこのように呼ぶ。  食品がさまざまな形で流通する現在、このフードサプライチェーンは多様で複雑なものになっている。  例えば野菜が農地で栽培、収穫され、工場でカット野菜に加工され、スーパーの店頭並び、消費者がそれを購入し、調理して口にするまでの流れもフードサプライチェーンのひとつの形である。</p> <p>詳しくはこちら：  <a href="#">食品ロス問題の解決に向けて</a></p>
<p>3分の1ルール</p>	<p>食品が製造された日から賞味期限までの日数を3等分し、最初の3分の1の期間が過ぎる前に小売店舗に食品を納品するというルール。これは法律ではなく、食品業界で決められた商習慣である。賞味期限まである程度の日数が確保された商品を店頭並びの目的のルールである。  例えば賞味期限が3ヶ月の食品ならば製造されてから1ヶ月以内に納品しなくてはならない。</p> <p>詳しくはこちら：  <a href="#">食品ロス削減に向けた商慣習見直しに取り組む事業者の公表: 農林水産省</a></p>
<p>絶対的貧困</p>	<p>最低限生存に必要なとされるものが購入できるだけの所得に達しておらず人間として最低限の生活水準を満たしていない状態。  世界銀行の定めた基準では1日1.9ドル以下の生活のことを指す。</p> <p>詳しくはこちら：  <a href="#">グラフでみる 世帯の状況 (p25) 貧困指標</a></p>
<p>相対的貧困</p>	<p>その国の生活水準と比べて困窮した状態にあること。具体的には世帯所得(等価可処分所得)が全世帯の中央値の半分未満の状態にあること。  相対貧困率はこのような状態にある人の比率のことである。</p> <p>参考ページ  <a href="#">貧困指標</a></p>
<p>ケイパビリティ・アプローチ(潜在能力のアプローチ)</p>	<p>経済学者のアマルティア・センが提唱した概念。ケイパビリティ、すなわち生き方を選ぶ上で取ることができる選択肢の幅の豊かさを豊かさの基準としている。このアプローチでは、貧困とは生き方の幅や可能性、自由度が失われている状態であると理解する。</p> <p>詳しくはこちら：</p>

	<p><a href="https://www.iwanami.co.jp/smp/book">潜在能力アプローチ - 岩波書店https://www.iwanami.co.jp/smp/book</a></p>
消費期限	<p>袋や容器を開けずに書かれた保存方法を守って保存した場合に、この日付まで安全に食べられるという期限のこと。惣菜や生菓子、サンドイッチなど、いたみやすい食品に表示されている。</p> <p>詳しくはこちら：  <a href="#">消費期限と賞味期限：農林水産省</a></p>
賞味期限	<p>袋や容器を開けずに書かれた保存方法を守って保存していた場合に、この日付までは美味しさなどの品質が変わらないという期限のこと。スナック菓子やかんづめ、乾麺など、いたみにくい食品に表示されている。この期限を過ぎても、すぐに食べられなくなるわけではない。</p> <p>詳しくはこちら：  <a href="#">消費期限と賞味期限：農林水産省</a></p>